
YUIが悪と闘ったら 東北の乱 2

pokemomtyan

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

YUIが悪と闘ったら 東北の乱2

【Nコード】

N2641BA

【作者名】

pokemomtyan

【あらすじ】

問題児の彼奴が暴れ出す！

独裁者のアホ（前書き）

感想を書いてね。

独裁者のアホ

ある問題児の国では、後継者が泣き崩れキチガイな行動を取ろうとした。

金正恩（きぎむきむきむきむ泣。俺の信頼している父さんが亡くなった泣叫！父さん・・此れはどういう事なんですイムニダ泣叫！こうなったらやけくそだ怒！、俺が軍の最高指導者&將軍の地位に・・若干、28歳でなったんだから、若さを爆発して、隣の韓国の島にまた砲撃を加えて、ついでに日本海に、俺と北朝鮮の核開発チームで発明したその名も・・新將軍の地位についておめでとうございませ！亡き父、金正日様を追悼しよう！新テポドンP-X5君を発射してやるイムニダ泣！）金正恩はやけくそになり、核爆弾発射ボタンを泣きながら、押そうとしたが二人の人物が止めに入った。

金テヒ（お兄ちゃん泣！やけくそにならないで泣！核ミサイル外交は、我が国が食糧危機の時に瀬戸際になった際に使う為にあるんだから、やみくもに使わないで叫！何せこのご時世で、経費も削減しないといけないのに・・ケチるって感情を身に着けてイムニダ泣！）彼女は金正恩の妹である。金正日の葬儀に後ろの方で兄と泣いていた人物である。

張成沢（正恩の叔父さん）（そうですとも叫！憂さを晴らしたければ、何時もの倍の数の我が国の貧民を連れてきて首を斬り飛ばして、ストレス解消をすれば良いではないですかイムニダ叫！）張は軍服を着ていて、正恩を止めながら軍隊帽子を片手でくるくる回した。

金正恩（きむきむ・・泣。確かに、お父さんは一番、兄弟の中で俺を可愛がってくれた・・泣。毎年、正月になると宮殿や別荘に拉致って来た北朝鮮の貧民を連れてきて、首を斬り飛ばしてそれを見てお父さんはこう言っていた・・。正恩笑。まるで、花火みたいに綺麗だな笑・・楽しいか？と濃厚な顔でワインを飲みながら、俺に言ってくれたんだ。母親が違う腹違いの俺の兄は、恐がって見なか

つたが・・俺はその悲鳴が混じり、斬り飛ばされていく奴等を目を輝かせながら見て・・うん楽しい と言ったものだ。)

正恩は鼻水を、叔父の張の軍服でふいた。

金テヒ(お兄ちゃんは、私にも優しくかつたしお父さんも私に優しくつたわ・・泣。私はお兄ちゃんたちの中で一番、正恩お兄ちゃんが好きよ。私の旦那だって正恩様は徳のある人だと・・ほくそ笑んだ目でステーキを食べながら言ってたけど、昔、私が4歳でお兄ちゃんが9歳の頃・・お兄ちゃんと忌まわしい、日本人の兵隊人形をお父さんに貰った時に、木に吊るして竹槍で突いたりして無茶苦茶にして楽しんだの覚えてるイムニダ笑?) 妹も同じように腐っていた。金正恩(きゝむきむきむきむき笑。懐かしいな。俺は倉庫から、機関銃を持ってきて、鬼畜!日本人が!叫!復讐の負の連鎖は続くんだ!何時か大虐殺をしてやるイムニダ!叫!つて奇声を発しながら、機関銃を撃ちまくったよな笑。) 正恩は機関銃を連射した時の構えを見せた。

張成沢(ほほほ笑。左様、左様・・私も金正日將軍様と遠くから見えておりましたが・・前將軍様は言っておられました・・成沢・・次期將軍は、正恩で決まりだな笑。見て見ろ!若干、9歳であの殺気だ。必ずやあの子は、国際社会に大きな傷をつけてくれると俺様は信じているイムニダ・・笑。と言っておられましたし、私も・・思ったのです。あの短パンと小さい軍服を着ていた坊ちゃんが・・泣こ・・こんなに立派になられたと思うと・・泣。胸が熱くなるイムニダ・・泣。) 張は金テヒのチマチヨゴリの裾で、鼻水と涙をふいた。金正恩(張・・其れほど、俺を買っているのかイムニダ・・泣。お・俺は嬉しいぞ!)

金テヒ(兄さんは・・そう・兄さんは、この国の初代、將軍様・・我等が尊敬し、崇拜をし、あの忌まわしき日本や韓国やアメリカの教科書にも載る我が祖父・・金日成国家主席と似ていると言われるほどの大人物イムニダ大叫!) 妹も奇声を発した。

金正恩(そうか・・!そうか笑!俺は敬愛する祖父・・この国を創

設した、金日成と似ているとお父さんも言ってくれた叫！祖父も俺を俺を可愛がつてくれた・・こんな事を言っていた。）正恩の過去の回想シーンに入った。ある宮殿での真昼の出来事である。

貧民A（しょ・しょ・將軍様泣！おねげですだ！おら達は貧しいが、まだ死にたくねえだ！何卒！何卒ご容赦をおねげしますだ泣叫！）貧民は手錠を繋がれ、頭を下げた。

国民A（將軍！確かに・・私は町で將軍様の悪口を言つて、国家の秘密警察に掴まりましたが、此処で助ければ・・株は上がりますよね？）この二人は、もう殺されそうだった。

金正日（きくむきむきむきむ笑。俺に逆らつた報いだイムニダ！殺せ笑！）二人は壁に繋がれて、正面に機関銃が構えられた。

貧民&国民（ぎゃく泣き叫！）機関銃の音が虚しく響き渡つた。

金正恩&テヒ（父さん笑！凄いや！今度の機関銃も、また去年と比べて格段に射撃速度が上がつて破壊力が増しているね笑！）腐つた餓鬼は目を光らせた。

金正日（きくむきむきむきむ笑。見る！あつと言つまだ。肉自体も粉碎するぞ。）正日はワインと杏露酒を飲み干して、手前の七面鳥のキチンを5本平らげた。奥の方の席から彼奴も居た。

金日成（きくむきむきむきむ笑。国政は、息子に任し俺様は早いこと隠居して成功だったズエ笑。）金日成はスーツの上に、白いヤクザが着るファーを羽織つて、葉巻を吸い椅子に座り、左右には妾がブドウを向いてお酒を注いでいた。

金正日（きくむきむきむきむ笑。まだだよ父さん！ほら！鎖に繋がれた、貧民たち1000人を並べたぞ。此れから、新たな新兵器を見せるぜ！）1000人の人達が並べられ、兵士の一人が小さい白い丸い物体を放り投げて、足早に去つた。

貧民達（こ・此れは何だ？）つぎの瞬間、一気に発火して貧民達の体に火が付いた。

独裁者のアホ（後書き）

感想を書いてね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2641ba/>

YUIが悪と闘ったら 東北の乱2

2012年1月6日19時46分発行